

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 中央化学株式会社

コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 水野 和也

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画担当 経営企画 本部長 (氏名) 中野 保則

TEL 048-540-2805

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	12,424	△7.7	△692	—	△483	—	△364	—
24年12月期第1四半期	13,466	△1.8	5	△98.4	△59	—	2	△46.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △225百万円 (—%) 24年12月期第1四半期 26百万円 (△29.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△18.10	—
24年12月期第1四半期	0.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	47,262	—	14,339	—	30.3	—
24年12月期	48,067	—	14,565	—	30.3	—

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 14,339百万円 24年12月期 14,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	△4.5	0	—	0	—	0	—	0.00
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当期は決算期の変更(12月31日を3月31日)に伴い、平成25年1月1日から平成26年3月31日までの15ヶ月の変則決算となりますが、通期連結業績予想は、詳細が續まり次第お知らせいたします。

【参考情報】

平成26年3月期第4四半期連結累計期間の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

売上高 59,000百万円(0.7%減) 営業利益 900百万円(43.3%増) 経常利益 600百万円(3.0%減)

当期純利益 300百万円 一株当たり当期純利益 14円89銭

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	21,040,000 株	24年12月期	21,040,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	890,986 株	24年12月期	890,950 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	20,149,023 株	24年12月期1Q	20,149,098 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高の影響や新政権による経済政策への期待などから穏やかな回復基調にあり、消費者マインドも全体としては改善しつつあります。しかしながら、当食品包装容器業界に極めて関連性の深い食品・日用品などの一般消費財市場においては、依然、消費者の節約志向が根強く、スーパーや百貨店の食料品部門における売上高は引き続き前年を下回る状況で推移しており、当社製品の売上高もその影響を大きく受ける結果となりました。一方、当社が使用するプラスチック原材料については、ナフサやベンゼンの海外市況上昇と円安などの影響から価格が急ピッチで上昇しております。

このような状況のなか、当社グループの国内では、2月13日から2月15日の間、当社の東京オフィスにおいて「Spring Fair 2013」を開催し、春の新製品発表と共に春夏のイベントに向けた各種の提案をおこない、お客様を基点とした提案型営業の強化に努めました。生産面では、当社が開発したポリプロピレンをベースとした多機能素材「SD」（耐熱性・耐油性・省資源という従来型の特性に加えて断熱性・超軽量・CO₂排出量削減を付加した多機能な断熱積層発泡素材）の安定した生産体制が確立され、「SD」の商品ラインナップも拡大いたしました。

中国においては、経済成長率がやや鈍化したものの、第1四半期の実質GDP成長率は前年比7.7%と、依然、高い経済成長が続いており、安全・安心な当社グループ製品に対する需要も引き続き堅調に推移しておりますが、足許では国内同様、原材料価格の上昇が続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が12,424百万円（前年同期比7.7%減）、営業損失692百万円（前年同期は5百万円の利益）、経常損失483百万円（前年同期は59百万円の損失）、四半期純損失364百万円（前年同期は2百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、受取手形及び売掛金が2,005百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ805百万円減少し47,262百万円となりました。

(負債)

負債は、長期借入金が375百万円増加した一方、短期借入金が491百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ579百万円減少し32,922百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純損失364百万円等により、前連結会計年度末に比べ225百万円減少し14,339百万円となり、自己資本比率は30.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、5,607百万円となり前連結会計年度末に比べ453百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費579百万円、売上債権の減少2,099百万円があった一方、たな卸資産の増加648百万円、仕入債務の減少422百万円等があり、1,155百万円（前年同期比560百万円の増）の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得587百万円等があり、540百万円（前年同期比211百万円の増）の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入500百万円があった一方、短期借入金の純減額500百万円やリース債務の返済262百万円等があり、306百万円（前年同期比3,048百万円の減）の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回（平成25年2月13日公表「平成24年12月期 決算短信」）の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,153	5,713
受取手形及び売掛金	11,655	9,650
商品及び製品	5,791	6,367
仕掛品	676	666
原材料及び貯蔵品	1,229	1,465
繰延税金資産	240	253
その他	2,792	2,460
貸倒引当金	△15	△18
流動資産合計	27,523	26,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,495	6,503
機械装置及び運搬具(純額)	3,111	3,129
土地	4,563	4,563
リース資産(純額)	3,749	3,953
建設仮勘定	155	246
その他(純額)	708	695
有形固定資産合計	18,784	19,091
無形固定資産		
リース資産	19	16
その他	383	405
無形固定資産合計	403	422
投資その他の資産		
投資有価証券	363	272
長期貸付金	125	132
破産更生債権等	183	135
繰延税金資産	803	779
その他	144	143
貸倒引当金	△265	△273
投資その他の資産合計	1,355	1,189
固定資産合計	20,543	20,703
資産合計	48,067	47,262

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,163	11,065
短期借入金	3,498	3,007
1年内返済予定の長期借入金	1,314	1,394
リース債務	1,001	1,049
未払金	2,183	1,917
未払法人税等	71	21
未払消費税等	41	67
賞与引当金	—	119
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	17	17
その他	1,742	1,286
流動負債合計	21,067	19,979
固定負債		
長期借入金	8,361	8,736
リース債務	3,000	3,166
退職給付引当金	777	743
役員退職慰労引当金	15	17
災害損失引当金	81	81
債務保証損失引当金	37	37
資産除去債務	7	7
その他	153	151
固定負債合計	12,434	12,943
負債合計	33,502	32,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	3,353	2,988
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	14,183	13,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	7
繰延ヘッジ損益	0	8
為替換算調整勘定	378	504
その他の包括利益累計額合計	381	520
純資産合計	14,565	14,339
負債純資産合計	48,067	47,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	13,466	12,424
売上原価	10,731	10,325
売上総利益	2,734	2,099
販売費及び一般管理費	2,728	2,791
営業利益又は営業損失(△)	5	△692
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
為替差益	136	255
その他	47	54
営業外収益合計	186	311
営業外費用		
支払利息	82	63
手形売却損	6	6
売上割引	20	21
支払手数料	120	—
その他	21	10
営業外費用合計	252	102
経常損失(△)	△59	△483
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
受取補償金	—	195
受取和解金	136	—
特別利益合計	136	196
特別損失		
固定資産除売却損	4	4
災害損失	36	23
特別損失合計	41	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	34	△314
法人税、住民税及び事業税	32	41
法人税等調整額	△0	8
法人税等合計	32	49
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2	△364
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2	△364

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2	△364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	4
繰延ヘッジ損益	0	8
為替換算調整勘定	20	126
その他の包括利益合計	23	139
四半期包括利益	26	△225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26	△225

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	34	△314
減価償却費	532	579
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	10
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△0	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30	△33
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△35	1
受取補償金	—	△195
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	82	63
為替差損益(△は益)	△18	△33
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	△0
有形固定資産除却損	4	4
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△0
売上債権の増減額(△は増加)	1,985	2,099
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,050	△648
仕入債務の増減額(△は減少)	△871	△422
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17	22
その他	17	△73
小計	690	1,056
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	△64	△31
補償金の受取額	—	195
法人税等の支払額	△33	△67
営業活動によるキャッシュ・フロー	594	1,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△334	△587
固定資産の売却による収入	—	0
定期預金の預入による支出	—	△106
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	—	100
貸付金の回収による収入	9	3
破産更生債権等の回収による収入	—	49
その他	△0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△328	△540
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△13,089	△500
長期借入れによる収入	10,000	500
長期借入金の返済による支出	△89	△44
リース債務の返済による支出	△176	△262
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,355	△306
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	144
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,051	453
現金及び現金同等物の期首残高	7,902	5,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,851	5,607

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,263	1,202	13,466	—	13,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	248	254	△254	—
計	12,268	1,451	13,720	△254	13,466
セグメント利益	24	89	114	△108	5

(注) 1. セグメント利益の調整額△108百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,142	1,282	12,424	—	12,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	451	471	△471	—
計	11,162	1,733	12,896	△471	12,424
セグメント利益又は損失(△)	△563	20	△542	△149	△692

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△149百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。